

様式－1

平成 年 月 日

西日本高速道路(株)〇〇支社 (〇〇事務所)

支社(所)長 殿

住所
商号又は名称
役職名
氏名 印
担当者氏名
住所
電話番号

調査等における低入札価格調査（重点調査）資料の提出について

標記について、下記の資料を各2部提出します。

記

1. 調査等件名
2. 入札日
3. 提出資料
 - ① 資料の提出に係る表紙 (様式－1)
 - ② 当該価格により入札した理由 (様式－2)
 - ③ 入札価格の内訳書 (様式－3)
 - ④ 当該契約の履行体制 (様式－4)
 - ⑤ 手持ちの建設コンサルタント業務等の状況 (様式－5)
 - ⑥ 配置予定技術者名簿等 (様式－6)
 - ⑦ 手持ち機械の状況 (様式－7)
 - ⑧ 過去において受注・履行した同種又は類似の業務の名称及び発注者 (様式－8)
 - ⑨ 誓約書 (様式－9)

(当該価格で適正な履行が可能な理由の根拠資料を列挙すること。)

以 上

様式－1

平成 年 月 日

西日本高速道路(株)〇〇支社 (〇〇事務所)

支社(所)長 殿

住所

商号又は名称

役職名

氏名

印

担当者氏名

住所

電話番号

調査等における低入札価格調査（基本調査）資料の提出について

標記について、下記の資料を各2部提出します。

記

1. 工事件名

2. 入札日

3. 提出資料

① 当該価格により入札した理由

(様式－2)

② 入札価格の内訳書

(様式－3)

③ 誓約書

(様式－9)

以 上

当該価格で入札した理由

--

注1：当該価格で入札した理由を、直接費、直接人件費、直接経費、特別経費、その他原価、一般管理費等、諸経費、技術経費等の算定根拠を記載すること（別添としても可）

注2：再委任業者等の協力による場合はその理由等を具体的に記載すること。

注3：当該価格で適正な履行が可能である理由を具体的に記載すること。

注4：調査等業務の内訳書（様式 - 3）に記載する、応札価格の理由と整合した記載とすること。

当該価格で入札した理由

本業務の実施にあたり、当社は公共事業の詳細設計を全国的に受注しており、経験と実績を有し、設計の効率的な対応を確立している。

① 【●●●●●●●●●●することによる削減】

.....
..

(従来○○○千円 今回○○○千円 節減額 ▲ ○○○千円)

② 【●●●●●●●●による効率化】

.....
..

(従来 ○○○千円 今回 ○○○千円 節減額 ▲ ○○○千円)

③ 【●●●●●●●●への再委任による削減】

.....
..

(従来 ○○○千円 今回 ○○○千円 節減額 ▲ ○○○千円)

④ 【●●●●●●●●による削減】

.....
..

(従来 ○○○千円 今回 ○○○千円 節減額 ▲ ○○○千円)

⑤ 【●●●●●●●●による削減】

.....
..

(従来 ○○○千円 今回 ○○○千円 節減額 ▲ ○○○千円)

⑥ 【●●●●●●●●による削減】

.....
..

(従来 ○○○千円 今回 ○○○千円 節減額 ▲ ○○○千円)

当該価格で入札した理由

以下の削減策や弊社の積算における考えから、約〇,〇〇〇千円（消費税含まず）の減額を図ったもので、本業務を適正・的確に実施し、成果品や品質を低下させることはありません。

〈節減内訳〉

項目	節減金額	根拠
直接人件費	〇〇〇 千円	①の一部,②,③
直接経費	〇〇〇 千円	④
その他原価	〇〇〇 千円	⑤
一般管理費	〇〇〇 千円	⑥
合計	〇,〇〇〇 千円	

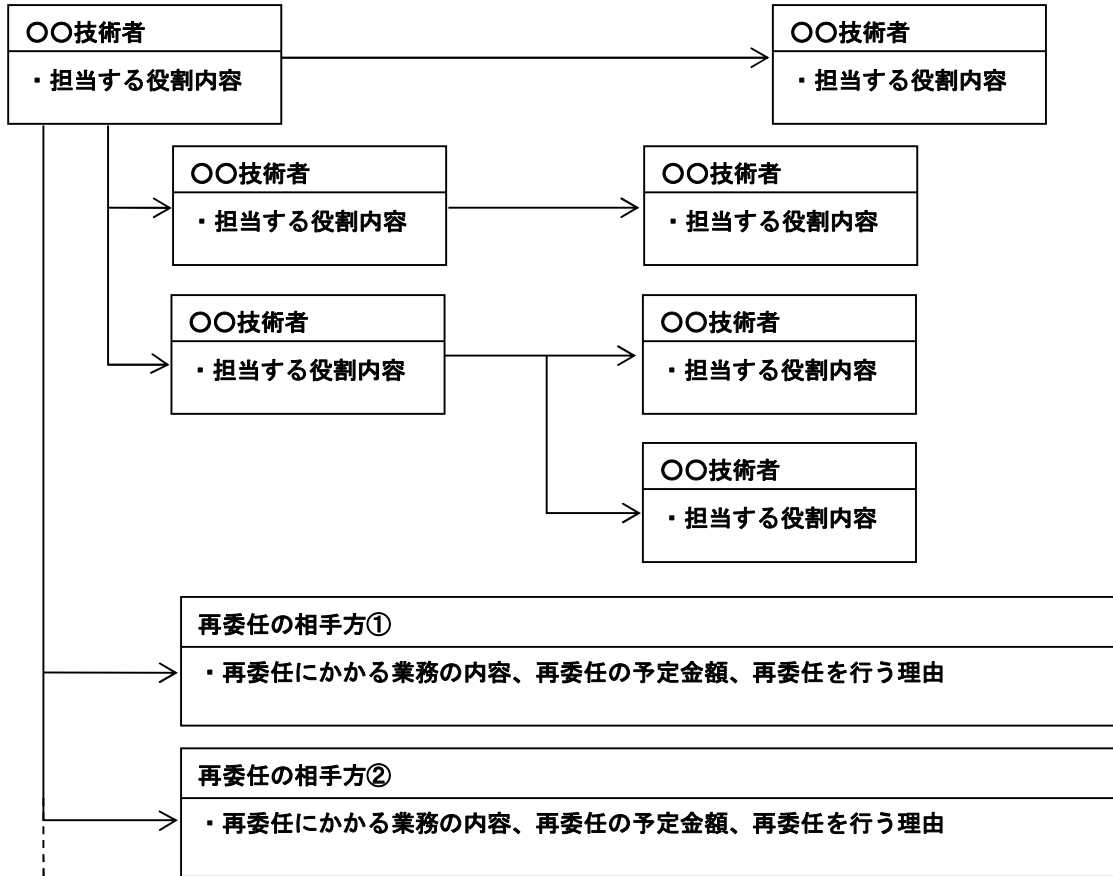
調査等業務の内訳書

工種・名称・細目	単位	数量	単価	金額	再委任予定金額	備考

注1：本様式の「工種・名称・細目」は、当社より公布した金抜設計書の内訳書の「工種・名称・細目」と同様に記載する。
 注2：内訳書には、契約書に基づく発注者の承諾を必要としない簡易な業務の再委任を含め、再委任を予定している金額を明らかにすること。
 注3：再委任先等からの見積書又は仮契約書が根拠となる場合は、押印付の見積書又は仮契約書を添付すること。
 注4：計上する費用については、計数的根拠がある合理的なもので、かつ、実行可能性が確認されるべきものでなければならず、その内訳の根拠を必ず添付すること。（書式自由）
 注5：上記調査等業務の内訳書の単価には、「消費税及び地方消費税相当額」を含まないこと。

当該契約の履行体制

① 履行のための体制図（全体像）



② 業務に係る実施体制

技術者の区分	氏名	部署 役職	本業務で担当する役割	備考

注1：調査等業務の内訳書（様式 - 3）に記載する、応札価格の理由と整合した記載とすること。

注2：体制図においては、契約対象業務のうち設計図書において指定した軽微な部分も含め再委任を行う予定がある場合は、再委任の相手先ごとに、相手方名及び再委任を行う業務の内容、再委任の予定金額及び再委任を行う理由を記載する。

注3：「技術者の区分」の名称は、契約対象業務の業務区分に応じて適宜設定すること。

注4：測量業務及び土質地質調査業務については、配置を予定する技術者のうち、現場作業における技術上の責任者として現場作業責任者を定め、備考欄に「現場作業責任者」と明記すること。

注5：協力会社の技術者を配置する予定である場合は、備考欄に会社名を明記すること。

配置予定技術者等名簿

技術者の区分	氏名	資格	取得年月日	免許番号 交付番号	備考

注1：配置を予定する様式 - 4 に記載したすべての技術者について記載するものとする。なお、競争参加資格として必要な資格については少なくとも記載すること。

注2：「技術者の区分」の名称は、契約対象業務の業務区分に応じ適宜設定すること。

注3：測量業務及び土質地質調査業務については、配置を予定する技術者のうち、現場作業における技術上の責任者として現場作業責任者を定め、備考欄に「現場作業責任者」と明記すること。

添付資料

- 1) 本様式に記載した技術者が自社社員であることを証明する書類を添付すること。(ロ)
- 2) 記載した資格を証明する書面の写しを添付する。

手持ち業務の状況

技術者氏名	〇〇 〇〇
当該業務役割	〇〇技術者

調査等業務名	発注機関	履行期間	契約金額	TECRIS 登録番号	備考
計	件	合計金額			

注1 : 配置を予定する技術者ごとに、契約金額 250 万円以上の手持ちの建設コンサルタント業務等すべてについて記載するものとする。

様式 - 7 - 1 (自社又は再委任予定先が機械等を保有している場合)

手持ち機械等の状況

(測量業務及び土質地質調査業務に限る)

(自社又は再委任予定先が機械等を保有している場合)

工種 種別	機械等名称	規格・型式・能力・年式	単位	数量	メーカー名	専属的使用 予定日数	備考

※ 本様式は、測量業務及び土質地質調査業務であって、保有又はリースのどちらかに該当する様式のみ記載し、提出すれば良い。ただし、保有する機械等とリースする機械等が混在する場合は両方の様式に記載し提出すること。

注1：本様式は、契約対象業務で使用する予定の手持ち機械等について記載する。

注2：再委任の相手方が保有する機械等を使用することを予定している場合は、備考欄にその旨記載すること。

様式 - 7 - 2 (自社又は再委任予定先が機械等を保有している場合)

手持ち機械等の状況

(測量業務及び土質地質調査業務に限る)

(自社又は再委任予定先が機械等を保有している場合)

工種 種別	機械等名称	規格・型式 能力・年式	単位	数量	メーカー名	リース元名			備考
						業者名	所在地	入札者との関係 (取引年数)	

※ 本様式は、測量業務及び土質地質調査業務であって、保有又はリースのどちらかに該当する様式のみ記載し、提出すれば良い。ただし、保有する機械等とリースする機械等が混在する場合は両方の様式に記載し提出すること。

注1：本様式は、契約対象業務で使用する予定の機械及び当該機械のリースを受けようとする予定業者について作成する。

注2：再委任の相手方がリースを受けて機械を使用することを予定する場合は、備考欄にその旨記載すること。

注3：「リース元」の「入札者との関係」欄には、入札者又は再委任先の相手方と機械リース予定業者との関係を記載する。(例) 協力会社、資本提携会社等

過去において受注・履行した同種又は類似の業務の名称及び発注者

技術者氏名	〇〇 〇〇
当該業務役割	〇〇技術者

調査等業務名	発注機関	履行期間	契約金額	TECRIS 登録番号	成績 評定点	低入札 調査対象

注1：過去3年間に公共事業発注機関が発注した業務等を対象に、受注・履行した同種又は類似の業務すべてについて、新しい順に記載する。

注2：上記注1に該当する業務が無い場合は「該当無し」と記載すること。

注3：記載した業務でNEXCO西日本が発注の低入札価格調査制度対象業務の案件には、低入札調査対象欄に「◎」印を、それ以外の発注機関での低入札価格調査制度対象の案件には、低入札調査対象欄に「○」印を記載する。

誓 約 書

当社は下記調査等の入札（見積り）において、下記金額で入札を行い、貴社が定める低入札価格調査制度の調査基準価格を下回る価格となったところではありますが、この価格をもって品質の確保及び契約の内容に適合した履行を行うことを誓約します。

あわせて、下記の入札を行った金額で、再委任予定業者や機械等のリース予定業者等の見積金額を故なく減額することなど、再委任予定業者等の契約金額にしわ寄せを行うなどの行為を行わないことを誓約するとともに、当社の照査体制を含む業務履行体制について設計図書に示される内容を遵守すべく構築し、当該業務を履行いたします。

当該業務履行期間中及び業務完了後において、この誓約を違反した事実が判明した場合は、契約違反としての措置をされることに承諾いたします。

記

1. 調査等名 ○○○自動車道○○○○設計
2. 入札（見積り）金額（税抜） ○○,○○○,○○○円
3. 入札価格で確実な品質確保及び契約履行が行えるとした理由

以 上

西日本高速道路株式会社○○支社

支社長 ○ ○ ○ ○ 殿

平成 年 月 日

商号又は名称

代表取締役名

印

注1：本様式は、入札金額で、適正な品質の確保のために体制確保・再委任予定業者等との適正な契約及び支払を行うことを証することを目的に、代表取締役が記名・押印して作成する。

注2：「調査等名」には、本調査等名を記載する。

注3：「入札金額」には、入札者が行った入札金額（税抜）を記載する。

注4：様式 - 2（当該価格で入札した理由）に記述した内容を総括して記載する。